

第1回いなべ市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	平成24年11月19日 午前9時30分から 藤原文化センター1階会議室
出席者	委員：6名出席（丸山康人、立川真司、堀 誠、松葉まち子 八田栄子 小林久里子 説明者側：4名（総務部長、企画部長、教育部長、生涯学習課長） 事務局：3名（政策課）
会議次第	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 会長あいさつ 4. 審議 施設統廃合答申に対する進捗について 5. その他 自然科学館の視察
配付資料	1. 事項書 2. 第1回行政改革推進委員会資料
審議の概要	審議事項（以下●印は委員長、◎印は委員発言、○印は事務局発言） ※市長あいさつ ◎：前回の答申の際に物件費の目標額と期限は定めてなかったのかな？ ○：その時の時点で、答申どおり廃止すれば、6,000万円の削減効果になります。期限については定められておりません ◎：今回の施設統廃合の進捗管理で廃止した施設の財源効果は？ ○自然科学館については、移転であり財源効果はありませんが、市之原野球場は150万円・大安BGプールの廃止で400万円財源効果がありました。 ●：職員数を減らした分が、臨時職員で補充されることにより、物件費膨らむということで、物件費を削減することは非常に難しい状況にある。施設を統廃合しただけでは、物件費はなかなか削減できない。今回物件費が減ったように見えるのは、桑名市消防署の事務事業委託の5億円が補助費等に統計上の区分けが変わったことによる削減で、決して物件費そのものが削減された結果ではない。 ◎：進捗の報告の中で調整中というのは、目標年次が定まっているのか、あるいは内部での検討なのか具体的に教えていただきたい。 ○：図書館については、平成24年度末で藤原図書館の一般図書を北勢図書館に移動し、児童図書だけにして、読み書かせ等で活用を考えている。図書の貸し出しについては、図書館で行うか、文化センターの事務所で行うかは決まっていないが、職員を一人配置して、図書の貸し出し業務は継続していく。

◎：今すぐに職員削減は難しいのかもしれませんが、いずれは職員を減らさないと物件費の削減は出来ないのではないのでしょうか？

職員を置くというのであれば、あの職員の人は何をしているのかって言われないうちに、このようなサービスを行うために職員を一人配置しているといった説明を市民のみなさんにしていく必要がある。

●きちんと説明するようお願いします。

◎：やはり職員を減らさなければ、本当の統廃合にはならないのでは？

◎：どれだけスリム化を行うのかと付加価値の部分は何だけなのかは二つを分離して議論する必要がある。

◎：目標の達成度をおさえるための目標値と期限が見える形で示す必要がある。

◎：大安BG体育館について財団が存続を条件と言うのであれば、維持費の一部を財団に寄付をお願いしたらよいのではないかと

○：東日本で被災した地域のBG施設に財源がまわされているので、寄付がなかなか貰えない状況です。

◎：体育館の掃除を委託するのではなく利用者に行ってもらってはどうか？

◎：体育館の掃除などは、利用者をお願いしてやってもらってはどうか？施設がなくなったら困るので現状を説明すれば協力してくれる少年団の指導者はいると思います。

○：市の施設は市が管理すべきと考えている利用者も多くいる。

◎：行政のありたい姿・ビジョンを明確にし、定量的な目標値を設定し、本気の姿勢を示していくことにより、市民の意識を変えていく必要もある。

◎：市が定量的な目標に向かって削減する姿勢をみせれば、われわれも企業も従業員に説明するなど、企業としての協力も出来る。

◎：廃止したあとどうするのかといった出口側の議論はできているのか。廃止してもそのまま市が所有していたのでは、維持管理費など無駄な経費がかかってしまう。

○：廃止したあとの施設については、売却・貸与など管財課を中心に議論を行っております。

●：次回の予定は

○：平成25年度・平成26年度で行政改革大綱の見直しの議論をお願いしたい。

◎：もっとスピード感を持って対応できないのか

○：次回は平成25年度でお願いします。